

温室効果ガス削減アクションプログラム

第二計画期間

温室効果ガス削減計画書等作成支援ツール

操作マニュアル

【一般事業者（車両）】

2024年4月

仙台市

目次

ツール概要	1
<削減計画書作成時の操作手順>	2
操作 1: 「はじめに」シート入力時の操作手順	2
操作 2: 電気事業者及び排出係数の入力	4
操作 4: 「事業所排出量内訳 (基準年度)」シート入力時の操作手順	7
操作 5: 「計画書① (事業所概要・目標)」シート入力時の操作手順	10
操作 6: 「計画書② (取組)」シート入力時の操作手順	11
操作 7: 「計画書③ (任意記載)」シート入力時の操作手順	12
<削減報告書作成時の操作手順>	13
操作 1: 電気事業者及び排出係数の入力	13
操作 2: 「計算シート (第 1～第 3 年度)」シート入力時の操作手順	14
操作 3: 「事業所排出量内訳 (第 1～3 年度)」シート入力時の操作手順	15
操作 4: 「報告書① (事業所概要・実績)」シート入力時の操作手順	18
操作 5: 「報告書② (取組)」シート入力時の操作手順	19
操作 6: 「報告書③ (任意記載)」シート入力時の操作手順	24

ツール概要

本ツールは、一般事業者が温室効果ガス削減アクションプログラムにおいて、計画書・報告書での温室効果ガス排出量算定や削減計画等の作成を支援します。シートへの記入方法については「事業者温室効果ガス削減計画書等作成の手引き」を参照してください。

シートの色ごとに作業が分かれています。

- ・黄色シート→まずこのシートから操作します。
- ・青色シート→削減計画書作成時に操作します。
- ・緑色シート→削減報告書作成時に操作します。
- ・赤色シート→基本的に操作はしませんが、評価点を確認することができます。

<削減計画書作成時の操作手順>

操作1:「はじめに」シート入力時の操作手順

1. 「はじめに」シートの入力欄(水色)にデータを入力します。

計画書	計画期間	2023	年	~	2025	年	
	基準年度	2022	年				
	提出年月日		年		月		日
届出者	法人の名称						
	法人の所在地						
	代表者の職・氏名						
	代理者の職・氏名						
該当要件	条例第2条第5号イ	<input type="checkbox"/>	①原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所				
	条例第2条第5号ロ	<input type="checkbox"/>	②エネルギー起源CO2を除くいずれかの物質の温室効果ガス排出量が3,000トン以上の事業所				
	条例第2条第5号ハ	<input type="checkbox"/>	③市内に100台以上の自動車を所有する運送事業者				
	一般事業者	<input checked="" type="checkbox"/>	④任意提出事業者				
事業所の概要	事業所の名称						
	事業所の所在地	〒		-			
	産業分類番号						
	事業の概要						
担当者	所属部署						
	住所	〒		-			
	氏名						
	電話番号						
	FAX番号						
	Eメールアドレス						
報告書	提出対象年度	第		年度			
	提出年月日		年		月		日

②削減報告書作成

2. 「Enter」キー押下し入力データが確定するとセルの色が水色から白色に変わります。

2023	年	~	2025	年	
2022	年				
2023	年	5	月	1	日
株式会社 仙台物産					
<input type="checkbox"/>	①原油換算エネルギー使用量が1,500				
<input type="checkbox"/>	②エネルギー起源CO2を除くいずれか				
<input type="checkbox"/>	③市内に100台以上の自動車を所有す				
<input checked="" type="checkbox"/>	④任意提出事業者				

→

2023	年	~	2025	年	
2022	年				
2023	年	5	月	1	日
株式会社 仙台物産					
<input type="checkbox"/>	①原油換算エネルギー使用量が1,500				
<input type="checkbox"/>	②エネルギー起源CO2を除くいずれか				
<input type="checkbox"/>	③市内に100台以上の自動車を所有				
<input checked="" type="checkbox"/>	④任意提出事業者				

3. 入力項目を確認し、次の操作に進んでください。

<排出係数ツールの使い方>

電気事業者名
入力欄 ① ② 検索 13件見つかりました

<入力時のポイント>
キーワードとなる電気事業者名の一語を入力して下さい。
※(株)、「株式会社」を入力しないでください。
※アルファベットの全角/半角は問いません。

③ 電気事業者名	排出係数
東京電力エナジーパートナー(株)メニューA	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューB	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューC	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューD	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューE	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューF	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューG	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューH	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューI	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューJ	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューK	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューL(残差)	0.390000

操作手順

- ① 電気事業者名入力欄へ電気事業者名を入力して下さい。
- ② 「検索」ボタンを押して下さい。
該当する電気事業者名と排出係数が表示されます。
- ③ 転記する電気事業者名を選択して下さい。
同じ電気事業者でも、契約しているプランにより、排出係数が異なる場合があります。
再生可能エネルギー電力を活用したメニューで契約の場合は、電力事業者を確認し、メニューを選択して下さい。
それ以外の場合は、(残差)と記載されているメニューを選択して下さい。
- ④ 電気事業者名と排出係数をコピーして下さい。
- ⑤ 転記先の報告書作成支援ツールファイルへ移動して下さい。
- ⑥ 該年度の「事務所排出量内訳」シートを選択して下さい。
- ⑦ 「電気事業者名」欄と「排出係数」欄へコピーしたデータを貼付けて下さい。

※赤枠にキーワードを入力し、その検索結果が緑枠に表示されます。

電気事業者名
入力欄 ① ② 検索 13件見つかりました

<入力時のポイント>
キーワードとなる電気事業者名の一語(※(株)、「株式会社」)を入力して下さい。
※アルファベットの全角/半角は問いません。

③ 電気事業者名	排出係数
東京電力エナジーパートナー(株)メニューA	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューB	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューC	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューD	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューE	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューF	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューG	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューH	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューI	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューJ	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューK	0.000000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューL(残差)	0.390000



- ① 電気事業者名入力欄へ電気事業者名を入力して下さい。
- ② 「検索」ボタンを押して下さい。
該当する電気事業者名と排出係数が表示されます。
- ③ 転記する電気事業者名を選択して下さい。
同じ電気事業者でも、契約しているプランにより、排出係数が異なる場合があります。
再生可能エネルギー電力を活用したメニューで契約の場合は、電力事業者を確認し、メニューを選択して下さい。
それ以外の場合は、(残差)と記載されているメニューを選択して下さい。
- ④ 電気事業者名と排出係数をコピーして下さい。
- ⑤ 転記先の報告書作成支援ツールファイルへ移動して下さい。
- ⑥ 該年度の「事務所排出量内訳」シートを選択して下さい。
- ⑦ 「電気事業者名」欄と「排出係数」欄へコピーしたデータを貼付けて下さい。

<事業所排出量内訳(基準年度)シート>

電気事業者からの買電 電気事業者名	昼間買電量 (千kWh)	夜間買電量 (千kWh)	うち非化石 (%)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	昼間排出量 (t-CO ₂)	夜間排出量 (t-CO ₂)
④				④		
合計						

- ①電気事業者名入力欄へ電力会社名を入力します。
- ②「検索」ボタンをクリックします。
- ③表示された検索結果の中から、契約している電気事業者及びメニューを選択します。
- ④計画書・報告支援ツールの「事業所排出量内訳(基準年度)」シートに検索結果の電気事業者名及び排出係数の情報を転記します。

操作3：「計算シート（基準年度）」シート入力時の操作手順

燃料		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
揮発油（ガソリン）	[リットル]													
軽油	[リットル]													
液化石油ガス（LPG）	[kg]						①							
液化天然ガス（LNG）	[kg]													
都市ガス（CNG含む）	[m3]													

k l

k l

t

t

千m³

千kWh千kWh千kWh千kWh千kWh千kWh

- ①各月毎の使用量を燃料別に入力します。
- ②事業所排出量内訳(基準年度)シートで記入した電気事業者が転記されます。
- ③各月毎の電気使用量を入力します。

拡大図<1>

1. エネルギー起源二酸化炭素 (CO₂) 排出量

燃料の種類	使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)
揮発油 (ガソリン)	①	②		kl		
軽油				kl		
液化石油ガス (LPG)				t		
液化天然ガス (LNG)				t		
都市ガス (CNG含む)				千m ³		
その他 ()	③				③	
水素				t		
小計	-	-	-	-		

拡大図<2>

その他の名称	換算係数	排出係数
③		

- ①操作3で入力した「計算シート」の合計値が転記されます。
- ②外部への供給量がある場合に入力します。
- ③その他の燃料及び水素を使用している場合、入力します。その他の燃料については、拡大図<2>に、使用した”燃料の名称” ”換算係数” ”排出係数”を入力します。

拡大図<3>

その他買電	買電量 (千kWh)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	排出量 (t-CO ₂)
④			
合計			

- ④その他買電がある場合は、契約している“電気事業者”とその電気事業者からの“買電量” “排出係数”を入力します。

拡大図<4>

電気の種類		使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)
電気事業者	昼間買電			⑤	千kWh		
	夜間買電				千kWh		
その他買電				⑥	千kWh		
					千kWh		

⑤「計算シート（基準年度）」の合計値が記載されます。

⑥⑤で入力した合計値が記載されます。

拡大図<5>

2. クレジット等による削減量

クレジット等の種類	削減量 (t-CO ₂)
⑦	
合計	

拡大図<6>

3. 原単位の指標

原単位の指標 (分母)	
名称	
単位	⑧
数値	

⑦クレジット等による削減量がある場合、“クレジット等の種類”と“削減量”を入力します。

⑧原単位の指標となる“名称”“単位”“数値”を入力します。

拡大図<7>

4. 年度末使用車両数

車種	全台数 (台)	全台数のうち下記の車種の内訳	台数 (台)
トラック	⑨	EV・PHV・水素自動車	⑩
		ハイブリッド自動車	
		低炭素ディーゼル自動車・天然ガス自動車	
バス	⑨	EV・PHV・水素自動車	⑩
		ハイブリッド自動車	
		低炭素ディーゼル自動車・天然ガス自動車	
タクシー		EV・PHV・水素自動車	
		ハイブリッド自動車	
一般車両	⑨	EV・PHV・水素自動車	⑩
		ハイブリッド自動車	
合計		合計	

⑨年度末時点の車両台数を入力します。

⑩全台数のうち、“EV・PHV・水素自動車”、“ハイブリッド自動車”、“低炭素ディーゼル自動車・天然ガス自動車”を使用した場合、その車両台数を入力します。

⑪入力項目を確認し、次の操作に進んでください。

操作 5：「計画書①（事業所概要・目標）」シート入力時の操作手順

事業者温室効果ガス削減計画書（第二計画期間）					
1 事業者の概要					
事業者の名称		①			
市内代表事業所の名称					
市内代表事業所の所在地					
主たる業種					
2 温室効果ガスの排出の状況及び排出抑制に係る目標					
基準年度	年度	基準排出量	t-CO ₂ /基準原単位		t-CO ₂ /
2025 年度 (目標年度)	温室効果ガス 排出抑制に係る 目標	目標排出量	t-CO ₂ /目標原単位		t-CO ₂ /
		削減率	%	削減率	%
	非化石エネルギー自動車割合（任意入力）				
目標設定の考え方		⑥			

- ①「はじめに」シートで入力した内容が転記されます。
- ②事業所排出量内訳（基準年度）シートから転記されます。
- ③最終年度時の“目標排出量”及び“目標原単位”を入力します。
- ④基準の排出量に対して目標排出量の削減率が表示されます。
- ⑤“非化石エネルギー自動車割合”を入力します。（任意で入力）
- ⑥③で記載した最終年度時の目標排出量及び目標原単位に関して、“目標設定の考え方”を入力します。
- ⑦入力項目を確認して、次の操作に進んでください。

操作 6：「計画書②（取組）」シート入力時の操作手順

3の1 重点的に実施する取組の実施計画（基本対策）					拡大図		
番号	項目	対象内容	実施状況 (基準年度)	実施予定	実施状況 (基準年度)	状況 (度)	実施予定
1	エネルギー管理施設等の整備	エネルギー管理施設等が整備されている。エネルギー管理施設等の中で、エネルギー管理が推進されている。	①		既導入		
2	省エネルギー教育の実施	省エネルギー、地球温暖化防止に関する研修、教育を定期的に実施し、実施記録を残している。			実施済 未実施 非該当	第1年度 第2年度 第3年度 予定なし	

① 3の1（基本対策）の実施状況と実施予定は、プルダウンリストから選択します。

3の2 重点的に実施する取組の実施計画（選択対策）					拡大図		
番号	項目	対象内容	実施状況 (基準年度)	実施予定	番号	項目	
1	②		②		1	省エネルギー設備の導入	
2					エネルギー管理施設の整備		

② 3の2（選択対策）の項目、実施状況と実施予定は、プルダウンリストから選択します。

3の3 重点的に実施する取組の実施計画（その他の対策）					拡大図		
番号	項目	具体的な取組内容（自由記述）	実施状況 (基準年度)	実施予定	番号	項目	
1	③	④	③		1	環境マネジメントシステムの導入	
2					SDGやRE100等国際的な環境経営の推進		

③ 3の3（その他の対策）の項目、実施状況と実施予定は、プルダウンリストから選択します。

④ “具体的な取組内容”を入力します。

⑤ 入力項目を確認し、次の操作に進んでください。

操作 7: 「計画書③ (任意記載)」シート入力時の操作手順

参考 1 これまで実施した削減対策の実績 (詳細)

番号	対策内容	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂ /年)	写真
1				
2				

対策に係る写真があれば
ここに貼付

参考 2 計画期間内に実施を予定している削減対策 (詳細)

番号	対策内容	実施予定 年度	推計削減量 (t-CO ₂ /年)	写真
1				
2				

対策に係る写真があれば
ここに貼付

記載事項がある場合、赤枠欄へデータを入力します。
また、対策に係る写真がある場合には、写真欄に貼付します。

<削減報告書作成時の操作手順>

操作 1：電気事業者及び排出係数の入力

契約している“電気事業者”及びその電気事業者からの“買電量”“排出係数”は、削減計画書作成時の操作 2 と同様に「事業所排出量内訳(第 1～第 3 年度)」シートの下記に示す赤枠に入力します。

“電気事業者”と“排出係数”は「排出係数検索ツール」にて検索した結果を、手動でコピーし、貼り付けてください。

なお、排出係数検索ツールの使い方については、削減計画書作成時 操作 2 の該当部分をご参照ください。

温室効果ガス排出量内訳							基準年度 (2022年度)		非公表		
1. エネルギー起源二酸化炭素 (CO₂) 排出量							1. エネルギー起源二酸化炭素 (CO₂) 排出量				
燃料の種類	使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)	熱量合計	0 GJ			
軽油 (ガソリン)				kl			炭油換算	0 KL			
軽油				kl			排出量合計	0 t-CO ₂			
液化石油ガス (LPG)				t							
液化天然ガス (LNG)				t							
都市ガス (CNG含む)				千m ³							
その他 ()											
水素				t							
小計	-	-	-	-	-	-					
2. クレジット等による削減量							2. クレジット等による削減量				
クレジット等の種類	削減量 (t-CO ₂)						削減量合計				
							0 t-CO ₂				
							温室効果ガス総排出量				
							0 t-CO ₂				
合計											
3. 原単位の指標							3. 原単位の指標				
原単位の指標 (分母)							排出原単位				
名称							0 t-CO ₂ /				
単位											
数値											
4. 年度末使用車両数							4. 年度末使用車両数				
車種	全台数 (台)	全台数のうち下記の車種の内訳				台数 (台)	非化石エネルギー自動車割合				
トラック		EV・PHV・水素自動車 ハイブリッド自動車					0 %				
		低炭素ディーゼル自動車・天然ガス自動車									
バス		EV・PHV・水素自動車 ハイブリッド自動車									
		低炭素ディーゼル自動車・天然ガス自動車									
タクシー		EV・PHV・水素自動車 ハイブリッド自動車									
一般車両		EV・PHV・水素自動車 ハイブリッド自動車									
合計		合計									

電気事業者名	昼間買電量 (千kWh)	夜間買電量 (千kWh)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	昼間排出量 (t-CO ₂)	夜間排出量 (t-CO ₂)
合計					

その他買電	買電量 (千kWh)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	排出量 (t-CO ₂)
合計			

操作 2：「計算シート（第 1～第 3 年度）」シート入力時の操作手順

「はじめに」シートの下部報告年度をプルダウンリストから選択します。

第 1 年度														
燃料		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
揮発油(ガソリン)	[リットル]													
軽油	[リットル]													
液化石油ガス(LPG)	[kg]													
液化天然ガス(LNG)	[kg]													
都市ガス(CNG含む)	[m ³]													
電気[kWh]		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
②	昼間買電													
	夜間買電													
②	昼間買電													
	夜間買電													
②	昼間買電													
	夜間買電													

- 「計算シート（第 1～第 3 年度）」で以下の操作をします。シート内の対応する年度に記入します。
 - ①各月毎の使用量を燃料別に入力します。
 - ②事業所排出量内訳(第 1～第 3 年度)シートで記入した電気事業者が転記されます。
 - ③各月毎の電気使用量を入力します。

操作 3 : 「事業所排出量内訳 (第 1~3 年度)」シート入力時の操作手順

温室効果ガス排出量内訳 基準年度 (2022年度) 非公表

1. エネルギー起源二酸化炭素 (CO₂) 排出量

燃料の種類	使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)
揮発油 (ガソリン)				kl		
軽油				kl		
液化石油ガス (LPG)				t		
液化天然ガス (LNG)				t		
都市ガス (CNG含む)				千m ³		
その他 ()						
水素				t		
小計						

<1>

2. クレジット等による削減量

クレジット等の種類	削減量 (t-CO ₂)
合計	

<4>

3. 原単位の指標

原単位の指標 (分母)	排出原単位
名称	
単位	
数値	

<5>

4. 年度未使用車両数

車種	全台数のうち下記の車種の内訳	
	全台数 (台)	台数 (台)
トラック	EV・PHV・水素自動車	
	ハイブリッド自動車	
バス	炭素素ディーゼル自動車・天然ガス自動車	
	EV・PHV・水素自動車	
タクシー	ハイブリッド自動車	
	炭素素ディーゼル自動車・天然ガス自動車	
一般車両	EV・PHV・水素自動車	
	ハイブリッド自動車	
合計		

<6>

1. エネルギー起源二酸化炭素 (CO₂) 排出量

熱源合計	0 GJ
原油換算	0 KL
排出量合計	0 t-CO ₂

2. クレジット等による削減量

削減量合計	0 t-CO ₂
温室効果ガス総排出量	0 t-CO ₂

3. 原単位の指標

排出原単位	0 t-CO ₂ /
-------	-----------------------

4. 年度未使用車両数

非化石エネルギー自動車割合	0 %	
その他の名称	換算係数	排出係数
合計		

その他

電気事業者名	経路買電量 (FkWh)	夜間買電量 (FkWh)	排出係数 (tCO ₂ /FkWh)	経路排出量 (t-CO ₂)	夜間排出量 (t-CO ₂)
合計					

その他

その他買電	買電量 (FkWh)	排出係数 (tCO ₂ /FkWh)	排出量 (t-CO ₂)
合計			

<2>

※事業所排出量内訳シート (緑色)へデータを入力します。赤枠欄へデータ入力しても、セルの色は変化しませんのでご注意ください。

拡大図<1>

1. エネルギー起源二酸化炭素 (CO₂) 排出量

燃料の種類	使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)
揮発油 (ガソリン)	①	②		kL		
軽油			kL			
液化石油ガス (LPG)			t			
液化天然ガス (LNG)			t			
都市ガス (CNG含む)			千m ³			
その他 ()						
水素				t		
小 計	-	-	-	-		

①操作 2 で入力した「計算シート」の合計値が転記されます。

②外部からの供給量がある場合に入力します。

拡大図<2>

その他買電	買電量 (千kWh)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	排出量 (t-CO ₂)
合計			

③契約している“電気事業者”とその電気事業者からの“買電量”“排出係数”を入力します。

なお、“電気事業者”と“排出係数”は操作 2 のとおり「排出係数検索ツール」にて検索した結果を貼り付けます。

拡大図<3>

電気の種類	使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)
電気事業者	昼間買電			千kWh		
	夜間買電			④ 千kWh		
その他買電				千kWh		
				⑤ 千kWh		

④操作 1 で入力した「計算シート」の合計値が転記されます。

⑤③で入力した合計値が転記されます。

拡大図<4>

2. クレジット等による削減量

クレジット等の種類	削減量 (t-CO ₂)
⑥	
合 計	

⑥クレジット等による削減量がある場合、“クレジット等の種類”と“削減量”を入力します。

拡大図<5>

3. 原単位の指標

原単位の指標(分母)	
名称	⑦
単位	
数値	⑧

⑦計画書作成時の操作3で入力した内容が転記されます。

⑧報告年度における数値を入力します。

拡大図<5>

4. 年度末使用車両数

車種	全台数 (台)	全台数のうち下記の車種の内訳	台数 (台)
トラック	⑨	EV・PHV・水素自動車	⑩
		ハイブリッド自動車	
		低炭素ディーゼル自動車・天然ガス自動車	
バス	⑨	EV・PHV・水素自動車	⑩
		ハイブリッド自動車	
		低炭素ディーゼル自動車・天然ガス自動車	
タクシー	⑨	EV・PHV・水素自動車	⑩
		ハイブリッド自動車	
一般車両	⑨	EV・PHV・水素自動車	⑩
		ハイブリッド自動車	
合 計		合 計	

⑨年度末時点の車両台数を入力します。

⑩全台数のうち、“EV・PHV・水素自動車”、“ハイブリッド自動車”、“低炭素ディーゼル自動車・天然ガス自動車”を使用した場合、その車両台数を入力します。

⑪入力項目を確認し、次の操作に進んでください。

操作 4：「報告書①（事業所概要・実績）」シート入力時の操作手順

事業者温室効果ガス削減報告書（第二計画期間） 第 年度分

1 事業者の概要					
事業者の名称	公益財団法人 ○○				
市内代表事業所の名称	株式会社 ○○運輸				
市内代表事業所の所在地	仙台市青葉区				
主たる業種	運輸に付帯するサービス業				
2 温室効果ガスの排出の状況等					
基準年度	年度	基準排出量	t-CO ₂	基準原単位	t-CO ₂ /
2025 年度 (目標年度)	温室効果ガス 排出抑制に係る 目標	目標排出量	t-CO ₂	目標原単位	t-CO ₂ /
		削減率	%	削減率	%
		非化石エネルギー自動車割合（任意入力）			
第1年度	年度	排出量	t-CO ₂	原単位	t-CO ₂ /
		削減率	%	削減率	%
		非化石エネルギー自動車割合（任意入力）			
排出量等の増減理由					


- ①「はじめに」シートで入力した内容が転記されます。
- ②計画書作成時に入力した内容が転記されます。
- ③操作 2 で入力した内容が転記されます。
- ④基準の排出量に対して各年度の削減率が表示されます。
- ⑤各年度の排出量の増減理由を入力します。
- ⑥入力項目を確認し、次の操作に進んでください。

操作5：「報告書②（取組）」シート入力時の操作手順

次ページ以降の手順については、該当年度のシートを選択し、入力してください。

（第1年度、第2年度又は第3年度）

3の1 重点的に実施する取組の実施状況（基本対策）				
番号	項目	対策内容	実施状況	
			基準年度	第1年度
1	エネルギー管理推進体制の整備	エネルギー管理推進体制が整備されている。エネルギー管理推進体制の中で、エネルギー管理が推進されている。		
2	省エネルギー教育の実施	省エネルギー、地球温暖化防止に関する研修、教育を定期的の実施し、実施記録を残している。		
3	エネルギー使用量の把握	エネルギー使用量や走行距離を車両別に定期的に把握・記録されている。		
4	エコドライブ推進体制の整備	エコドライブ推進に関する責任者の設置、実践方法に関するマニュアルを作成するなど、推進体制を整備している。		
5	エコドライブ教育の実施	車両を運転する全社員に対するエコドライブに関する研修、教育を定期的の実施している。		
6	エコドライブ実践	エコドライブ10のすすめを実践し、チェックシート等に記録している。		
7	車両の維持管理	車両の点検・整備に関する責任者の設置、マニュアルの作成等、自動車の維持管理体制が整備されている。		
8	車両の性能管理	日常... 第1年度、第2年度又は第3年度		
9	効率的なルート選	事前に目的地までの効率的なルートを選定し、運転者に伝		



← ... **報告書② 第1年度(取組)** **報告書② 第2年度(取組)** **報告書② 第3年度(取組)** 報告

3の1 重点的に実施する取組の実施状況（基本対策）

番号	項目	対策内容	実施状況	
			基準年度	第1年度
1	エネルギー管理推進体制の整備	エネルギー管理推進体制が整備されている。エネルギー管理推進体制の中で、エネルギー管理が推進されている。		
2	省エネルギー教育の実施	省エネルギー、地球温暖化防止に関する研修、教育を定期的実施し、実施記録を残している。		
3	エネルギー使用量の把握	エネルギー使用量や走行距離を車両別に定期的に把握・記録されている。 ①		②
4	エコドライブ推進体制の整備	エコドライブ推進に関する責任者の設置、実践方法に関するマニュアルを作成するなど、推進体制を整備している。		
5	エコドライブ教育の実施	車両を運転する全社員に対するエコドライブに関する研修、教育を定期的実施している。		

①計画書作成時の内容が転記されます。

②各年度の実施状況をプルダウンリストから選択します。

基本対策の実施状況に関する説明・特記事項など

第1年度	③
------	---

③報告年度の基本対策の実施状況について入力します。

3の2 重点的に実施する取組の実施状況（選択対策）

番号	項目	対策内容	実施状況	
			基準年度	第1年度
1	燃費向上のための装置等の計画的導入	アイドリングストップ装置や低燃費タイヤなど、燃費向上のために必要な装置等を計画的に導入している。 ④	実施済	⑤
2				

④計画書作成時の内容が転記されます

⑤各年度の実施状況をプルダウンリストから選択します。

3の3 重点的に実施する取組の実施状況（その他の対策）

番号	項目	具体的な取組内容	実施状況	
			基準年度	第1年度
1		⑥		⑦

⑥計画書作成時の内容が転記されます

⑦各年度の実施状況をプルダウンリストから選択します。

⑧入力項目を確認し、次の操作に進んでください。

○ 選択対策を追加する場合の入力方法

3の2 重点的に実施する取組の実施状況(選択対策)				実施状況		
番号	項目	対策内容	基準年度	第1年度	第2年度	
				1		
2						

選択対策
項目追加欄へ移動

① 「3の2 重点的に実施する取組の実施状況(選択対策)」の右側にある**選択対策項目追加欄へ移動**をクリックします。

第2年度追加(選択対策)

1	情報共有体制の整備
2	環境性能の良い車両の計画的導入
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

選択対策
実施状況欄へ移動

② 追加する選択対策を、プルダウン選択します。

③ 選択対策実施状況欄へ移動をクリックします。

3の2 重点的に実施する取組の実施状況(選択対策)				実施状況		
番号	項目	対策内容	基準年度	第1年度	第2年度	
				1	情報共有体制の整備	エネルギー使用量や温室効果ガス排出量の把握・分析結果等を適切に社内(市内事業所間)で共有している。
2	環境性能の良い車両の計画的導入	ハイブリッド自動車、天然ガス自動車、電気自動車の環境性能の優れた車両を計画的に導入している。				

④ ②で選択した内容が転記されます。

⑤ 各年度の実施状況をプルダウンリストから選択します。

○ その他の対策を追加する場合の入力方法

303 重点的に実施する取組の実施状況(その他の対策)

番号	項目	具体的な取組内容	実施状況		
			基準年度	第1年度	第2年度
1					
2					

その他の対策
項目追加欄へ移動

①

① 「3の3 重点的に実施する取組の実施状況(その他対策)」の右側にある**その他の対策項目追加欄へ移動**をクリックします。

第2年度追加(その他の対策)

番号	項目	具体的な取組内容
1	環境マネジメントシステムの導入	○○○○○ ...
2	森林の保全・緑化の推進	○○○○○
3		
4		
5		

その他の対策
実施状況欄へ移動

③

② 追加するその他の対策をプルダウンリストから選択し、具体的な取組内容を記入します。

③ その他の対策実施状況欄へ**移動**をクリックします。

3の3 重点的に実施する取組の実施状況(その他の対策)

番号	項目	具体的な取組内容	実施状況		
			基準年度	第1年度	第2年度
1	環境マネジメントシステムの導入	○○○○○ ...			実施済
2	森林の保全・緑化の推進	○○○○○ ...			
3					

④ ②で選択した内容が転記されます。

⑤ 各年度の実施状況をプルダウンリストから選択します。

操作 6：「報告書③（任意記載）」シート入力時の操作手順

参考 1 計画期間内に実施した削減対策（詳細）

番号	対策内容	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂ /年)	写真
1				
2				
3				

対策に係る写真があればここに貼付

記載事項がある場合、赤枠欄へデータを入力します。

対策に係る写真がある場合には、写真欄に写真を貼付します。

担当：仙台市環境局 脱炭素都市推進部

脱炭素経営推進課 グリーン成長係

電話：022-214-8467

メールアドレス：action_program@city.sendai.jp

このパンフレットはリサイクルできます。「雑誌」に分別しましょう。